

# STAR

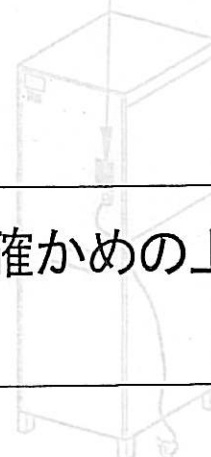
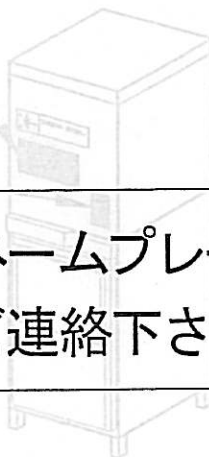
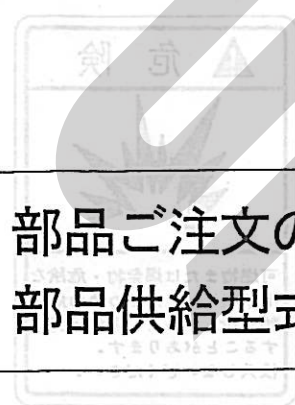
## プレス減容機

取扱説明書

製品コード

K9000710000

型 式 SMP4010



部品ご注文の際は、ネームプレートをお確かめの上、  
部品供給型式を必ずご連絡下さい。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIスター

# ⚠ 安全に作業するために

## 安全に関する警告について

本機には、⚠印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

## 警告ラベルについて

**⚠ 危険**

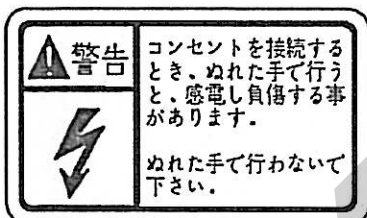
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

**⚠ 警告**

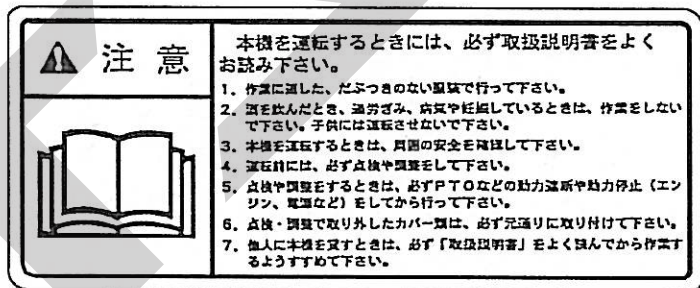
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

**⚠ 注意**

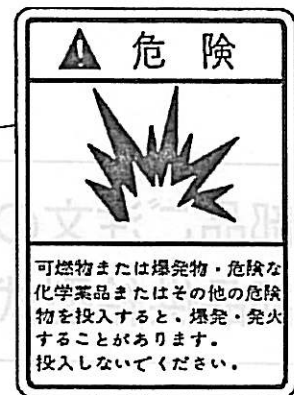
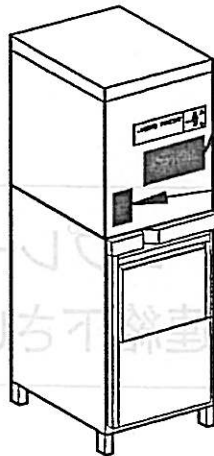
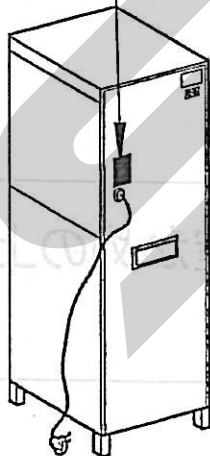
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



部品番号 106517



部品番号 106164



部品番号 106522

## ー ラベルが損傷した時は ー

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大切なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。



## 安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

### 作業前に

#### 取扱説明書は製品に近接して保存を

##### ⚠ 注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。

取扱説明書は分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

#### 取扱説明書をよく読んで作業を

##### ⚠ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

#### 据え付ける時は

##### ⚠ 警告

- 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。コンセントは単独で使用してください。

##### ⚠ 注意

- 交流100V以外で使用すると、火災・感電の原因になります。交流100Vで使用してください。
- 電源コードが破損すると、火災・感電の原因になります。電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
- 水平でない場所に据え付けると、重心位置が高いため転倒し、ケガをする場合があります。必ず水平な場所に据え付けてください。

#### こんな時は運転しないでください

##### ⚠ 警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

#### 服装は作業に適していますか

##### ⚠ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- スボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

#### 機械を他人に貸す時は

##### ⚠ 警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

#### 機械の改造禁止

##### ⚠ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

#### 衛生状態

##### ⚠ 注意

- 好ましくないバクテリア類の成長防止のために機械が空できれいに清掃されていることが必要です。又、床面についても清掃してください。

## 作業中は

作業する時は

### ⚠ 危険

- 可燃物又は爆発物、危険な化学薬品又はその他の危険物を投入すると、爆発・発火する事があります。

投入しないでください。

### ⚠ 注意

- ガラスピンやガラスのコップ等は、取扱い時手を切る等、ケガをする事があります。

投入しないでください。

## 不調処置・点検・整備をする時

### ⚠ 注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。  
取扱説明書に基づき行ってください。
- プラグを差し込んだまま不調処置をすると、第三者の不注意により不意に機械が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
プラグを抜いてください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下でケガをする事があります。  
補修もしくは部品交換してください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

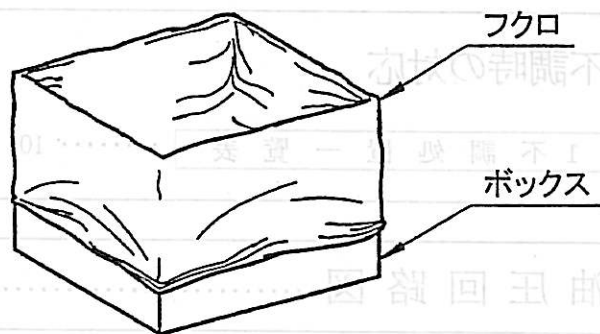
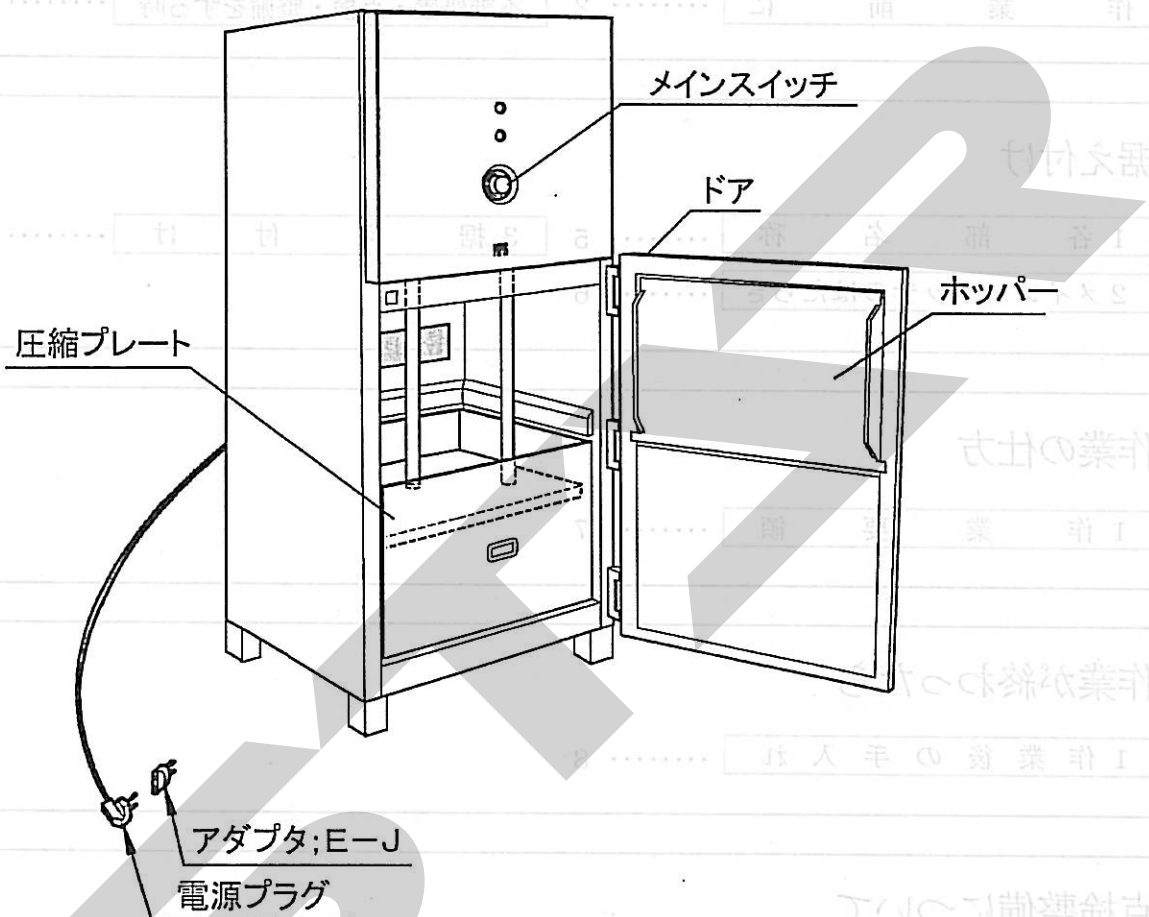


# もくじ

▲	安全に作業するために		
	安全に関する警告について	1	
	作業前に	2	
	作業中は	3	
	不調処置・点検・整備をする時	3	
1	据え付け		
	1 各 部 名 称	5	
	2 メインスイッチのはたらき	6	
	3 据 え 付 け	6	
2	作業の仕方		
	1 作 業 要 領	7	
3	作業が終わったら		
	1 作 業 後 の 手 入 れ	8	
4	点検整備について		
	1 点 検 整 備 一 覧 表	8	
	2 給 油 箇 所 一 覧 表	9	
5	不調時の対応		
	1 不 調 処 置 一 覧 表	10	
6	油 圧 回 路 図		12
7	電 気 回 路 図		13

# 1 据え付け

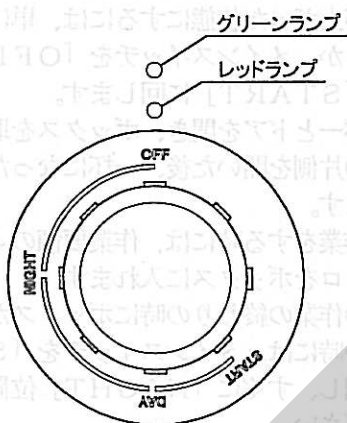
## 1 各部の名称



## 2 メインスイッチのはたらき

メインスイッチは以下の機能を持っています。

- ①OFF - 即時停止
- ②DAY - ニュートラル状態
- ③START - 圧縮プレートが1サイクルの作業をします。
- ④NIGHT - 火災と臭いを避けるために、圧縮プレートが圧縮したまま停止します。
- ⑤グリーンランプ - 作動中に点灯します。
- ⑥レッドランプ - 満量時点灯します。又は、ホッパー・ドアが閉じていない時、点灯します。



## 3 据え付け

### ⚠ 警告

- 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。コンセントは単独で使用してください。

### ⚠ 注意

- 交流100V以外で使用すると、火災・感電の原因になります。交流100Vで使用してください。
- 電源コードが破損すると、火災・感電の原因になります。電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

## 1. 電源

作業をするには、交流100V・20Aのコンセントに単独で接続します。

## 2. 据え付け

本製品は、通気の良い屋内の水平な場所に据え付けてください。

### ⚠ 注意

- 水平でない場所に据え付けると、重心位置が高いため転倒し、ケガをする場合があります。水平な場所に据え付けてください。



## 2 作業の仕方

### 1 作業要領

#### ▲ 危険

- 可燃物又は爆発物、危険な化学薬品又は、その他の危険物を投入すると、爆発・発火することがあります。  
投入しないでください。

#### ▲ 注意

- ガラスビンやガラスのコップ等は、取扱い時、手を切る等ケガをする事があります。  
投入しないでください。

電源プラグが差し込まれていることを確認してください。

1. ホッパレバーを外し、ホッパーを開きます。
2. ドアハンドルを手前に引いてからドアを全開します。
3. ボックスを引き出します。
4. フクロをボックスの中に入れ、上部は外側にできるだけきれいに折り返します。
5. 引き出しハンドルが手前に向く様にして、ボックスを入れます。
6. ドアを閉め、ドアハンドルでロックします。

－ これで作業準備完了です －

7. ホッパを開き、投入物を圧縮室に投入します。

#### 取扱い上の注意

長さ40cm以上の金属や木材の棒状のものは投入しないでください。  
機械の故障原因になります。

8. 圧縮室がほどよく一杯になったら、ホッパーを閉じメインスイッチを「START」位置に回すとグリーンランプが点灯し、圧縮プレートは1サイクルします。

#### 取扱い上の注意

グリーンランプが点灯中にドア等を開くと、機械が停止します。  
開かないでください。

9. グリーンランプが消えたら、ホッパーを開き投入物を圧縮室に投入し、レッドランプが点灯（満量の合図）するまで、作業を繰り返します。

#### 取扱い上の注意

対象物によっては、レッドランプが点灯するまで作業すると、重くなり運びにくくなるので適度な重さで取出してください。

10. レッドランプが点灯すると、圧縮プレートは下がった状態で停止しています。  
これが上がった状態にするには、単にホッパーを開閉するか、メインスイッチを「OFF」にし、それから「START」に回します。
11. ホッパーとドアを開き、ボックスを取り出し、ボックスの片側を開いた後、一杯になったフクロを取り出します。
12. 再度作業をする時には、作業要領の4にもどり新しいフクロをボックスに入れます。
13. 1日の作業の終わりの時にボックスが満量になっていない時には、メインスイッチを「START」位置に回し、すぐに「NIGHT」位置に回しておいてください
14. 「NIGHT」から作業を開始するには、スイッチをDAYに戻して圧縮板を上端に上げたのを確認後、ホッパを開いて投入物を投入します。

#### 取扱い上の注意

メインスイッチが「NIGHT」状態にある時や、作業中に停止した時には、投入しないでください。

#### 取扱い上の注意

ナイトの状態では、ドアを絶対開けないでください。ドアを閉じることが出来なくなり、再起動できなくなります。



### 3 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

#### 1 作業後の手入れ

1. 圧縮プレート、圧縮プレートラムガイドに付着しているゴミは、きれいに除去してください。
2. 破損部品がないか確認してください。  
異常があれば、修正又は部品の交換をしてください。

### 4 点検と整備について

調子よく作業するために定期的に行ないましょう。  
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

#### ▲ 注意

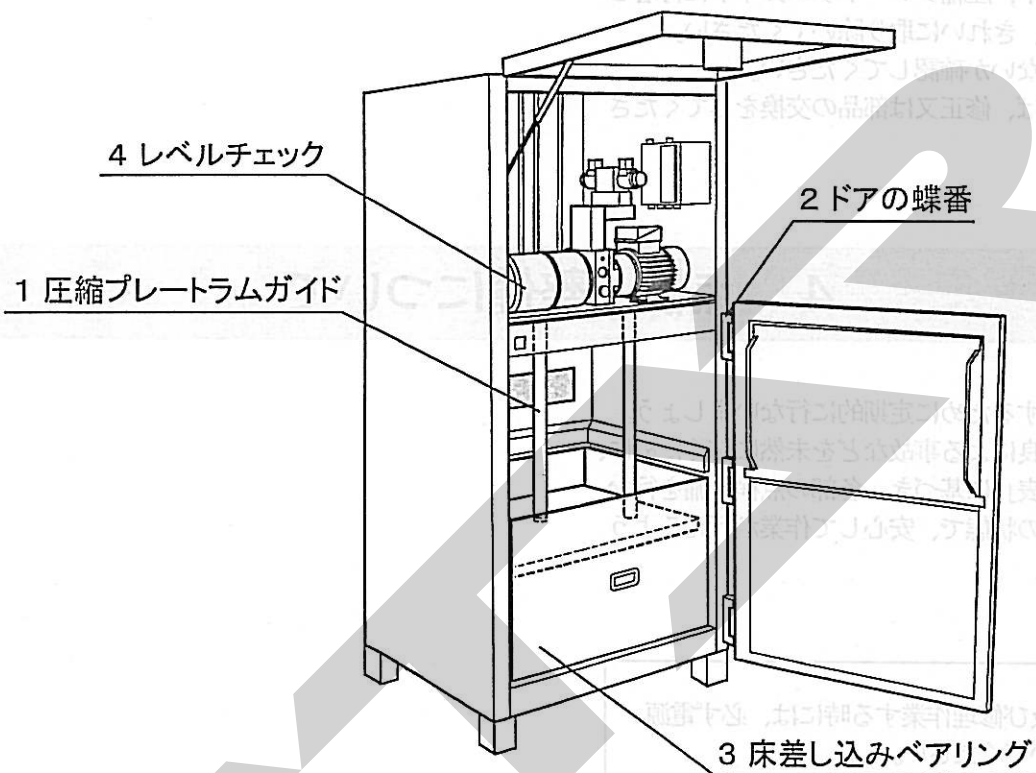
- 点検・整備及び修理作業する時には、必ず電源プラグを抜いてください。

#### 1 点検整備一覧表

時 間	点 検 項 目	処 置
新品使用前	●各部の給油	●「4-2 給油箇所一覧表」に基づき点検不足の場合は給油
作業後	●機械の清掃 ●油漏れ	●「5 不調時の対応」に基づき処置
定期点検（毎月）	●機械の清掃 ●オイルタンクのオイル量 ●各部の給油	●石ケン水で内側をきれいにしてください。 ●タンク上面から1cm ●「4-2 給油箇所一覧表」に基づき給油

## 2 給油箇所一覧表

- 給油・塗布するオイルは、清浄なものを使用してください。
- 出荷時には、十分給油してありますが、使用前に確認してください。



No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	給油時間	備考
1	圧縮プレート・ラムガイド	2	グリース塗布	毎月	
2	ドアの蝶番	2	オイル	〃	
3	床差し込みベアリング	3	オイル		
4	オイルタンクレベルチェック	1	ISO VG32 タービン油 相当	毎月	タンク内油量 ※ 3.5ℓ

※ 圧縮プレートが一番高い位置にして、レベルゲージの先端から半分迄所定のオイルを注油します。



## 5 不調時の対応

万一機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表により処置をしてください。

### ▲ 注意

- プラグを差し込んだまま、不調処置をすると、第三者の不注意により、不意に機械が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。  
プラグを抜いてください。
- 油圧の継手やホースにゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルでケガをする事があります。  
補修もしくは、部品交換してください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取付けずに作業をすると、ケガをする事があります。  
元通りに取り付けてください。

### 1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置
電 装 部	スイッチを” STA RT” の位置に回してもモーターが回転しない	プラグが差し込まれていない	プラグを差し込む
		ドアが閉まっていない。	ドアを開める。
		ホッパーが閉まっていない。	ホッパーを閉める。
		ヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。
		熱により、モーターのスイッチが切れている	オーバーロードによるモーターの熱がさめるまでそのままにしておく、自動的にリセットされる。
		モータソレノイドスイッチの故障	特約店又はメーカーに連絡する (注1)
		電気回路の故障	
電 装 部	マグネットスイッチが作動した時にモーターが回転しない	コンデンサー又はモーターが焼けている	特約店又はメーカーに連絡する (注1)
		油圧ポンプの詰まり	
	サーマルオーバーロードが連続して作動する	コントロールバルブの作動圧がずれているので調整しなければならない モータの故障	特約店又はメーカーに連絡する (注1)

	症 状	原 因	処 置
油 圧 部	圧力が不十分もしくは発生しない	オイルレベルが低い	オイルを追加する
		ポンプの発生圧が不十分	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		圧力安全スイッチの設定が低すぎる	
		シリンダのシールのオイル漏れ	
	油圧のサージと振動がある	油圧装置内のエア障害又は安全弁の騒音	オイルを抜き、交換する(注2)
	ポンプの騒音又は振動がある	オイルフィルターが詰まっている	
	オイルが過熱する	圧力スイッチの設定圧が高すぎる	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		内部に漏れがある	
	機械が作動中に振動/共鳴する	ガイドに給油を要する	グリース給油する
	スタートのスイッチを入れるとレッドランプ(FULL)が点灯する	圧力スイッチのセットが低すぎる又は故障している。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)

注1... 原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに特約店又はメーカーにご相談ください。

1. 製品名
2. 製造番号
3. 故障内容(できるだけ詳しく)

注2... オイル交換(油圧作動油)

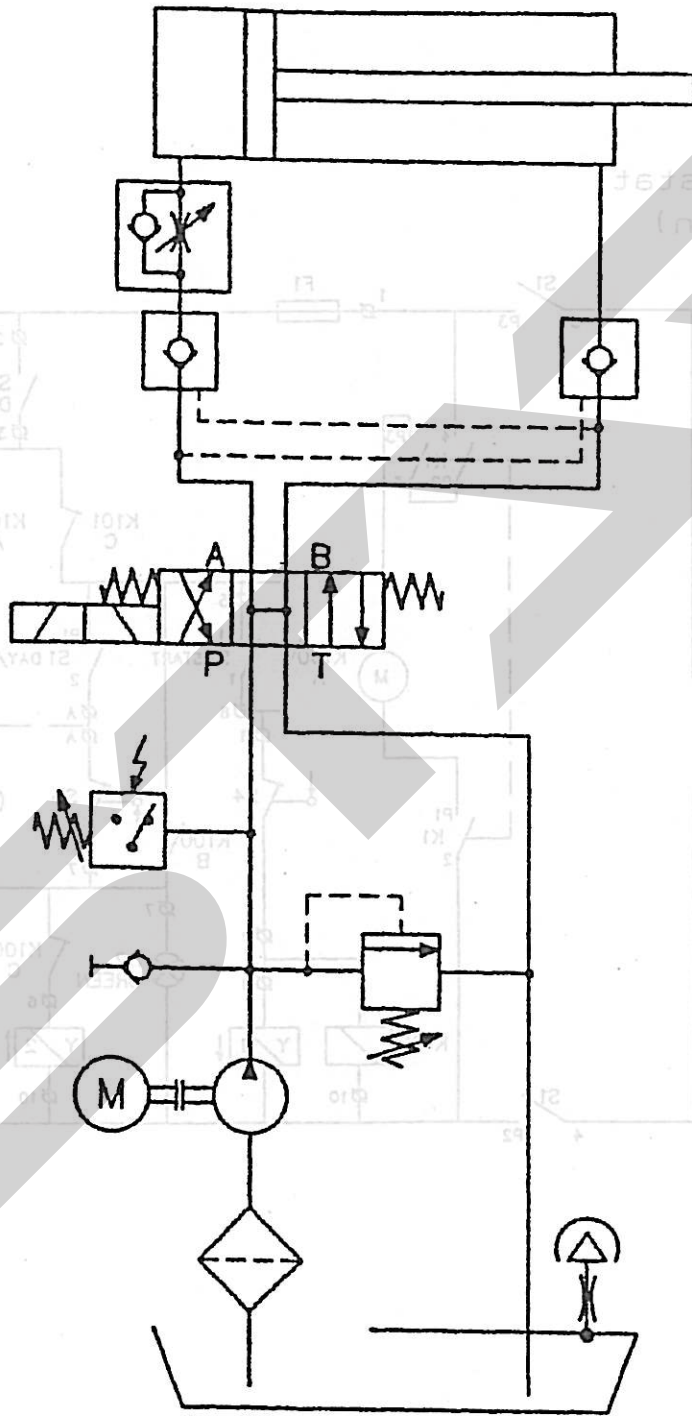
油圧作動油は減量分の補充のみで、交換の必要はありません。

しかし、何らかの原因(水が入った、異質のオイルを入れてしまったetc)で酸化や劣化が激しく、交換の必要が認められた場合は交換します。

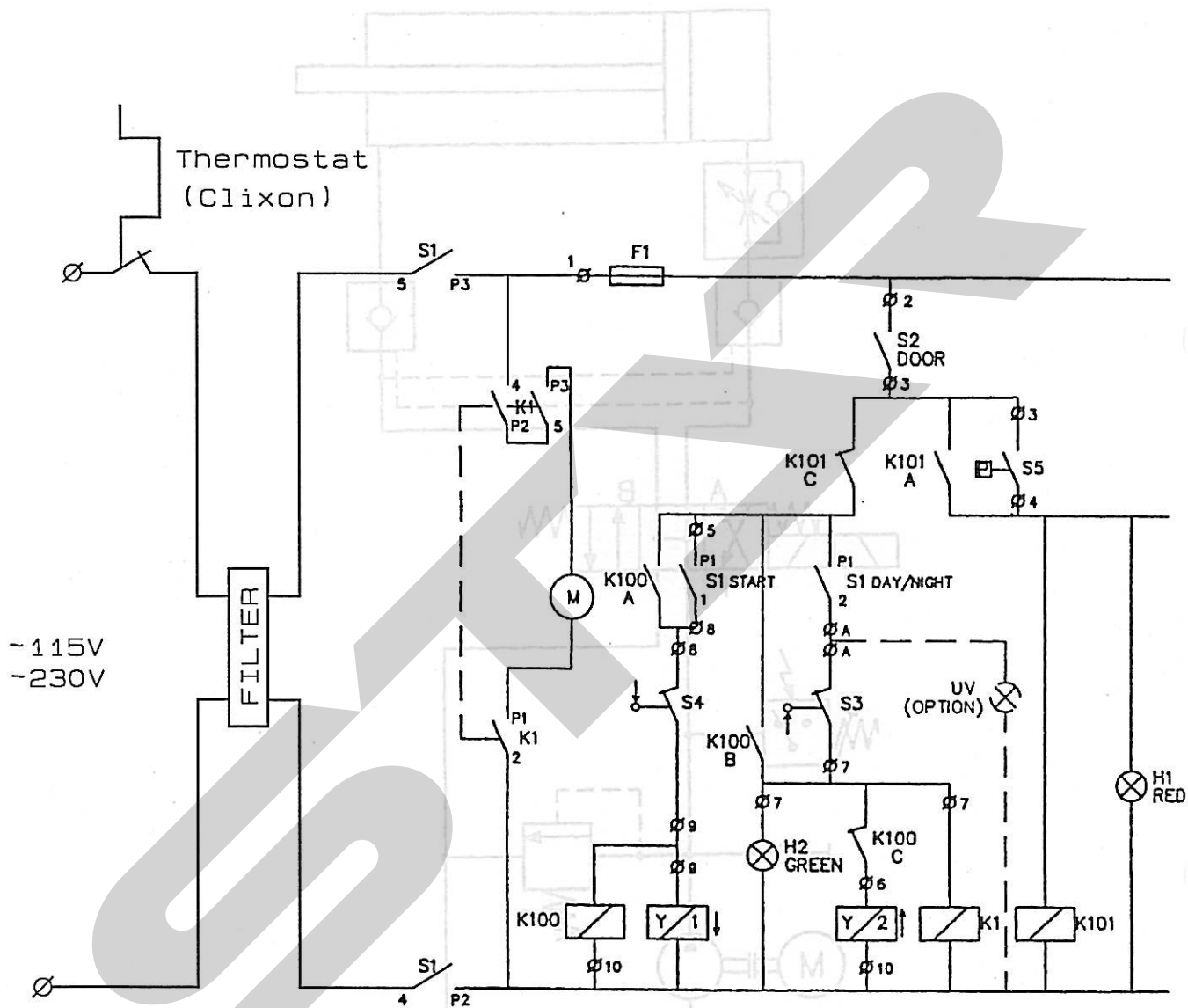
油量チェック、オイル交換は、必ず圧縮プレートを上にした状態で行ってください。



# 6 油压回路图



# 7 電気回路図







本社	066-8222	北海道士庁長官事務所 TEL 0133-22-1123 FAX 0133-28-5415
環境機械営業部 (北海道)	066-8222	北海道士庁長官事務所 TEL 0133-22-1123 FAX 0133-28-5415
環境機械営業部 (熊本)	353-0128	熊本県小山市築3213-1 TEL 0582-42-1400 FAX 0582-42-1410



本 社 066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2  
TEL 0123-26-1123  
FAX 0123-26-2412

環境機械営業部 066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2  
(北海道) TEL 0123-26-1123  
FAX 0123-26-2412

環境機械営業部 323-0158 栃木県小山市梁2512-1  
(栃木) TEL 0285-49-1400  
FAX 0285-49-1410